

動物管理学科  
専攻科

授業科目	動物行動学 I				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物管理学科 専攻科	1年次（前期）	必修	講義・演習	2
担当教員	谷田 創				
実務経験歴	大学教授として33年従事				
授業目的	動物行動学（家畜、伴侶動物、野生動物、飼育動物、動物園動物などを含む）の基本について、様々な具体的事例を通して学ぶ。				
達成目標	動物の行動の基礎について理解する。				
授業時間外に必要な学修	自分の身近な動物の行動を観察して、その意味を考えてみる。				
テキスト	その都度、資料を配布する（動物行動学に関するビデオなどの視聴あり）。				
参考書					
成績評価(割合)	小テスト(40%)および期末試験(50%)、学習態度(10%)で総合的に評価する。				
授業内容とスケジュール					
1回	ガイダンス				
2回	行動の機構機序1				
3回	行動の機構機序2				
4回	行動の遺伝1				
5回	行動の遺伝2				
6回	行動の進化1				
7回	行動の進化2				
8回	動物の行動と心理学1				
9回	動物の行動と心理学2				
10回	動物行動学とハンドリング1				
11回	動物行動学とハンドリング2				
12回	動物行動学と動物福祉1				
13回	動物行動学と動物福祉2				
14回	まとめ				
15回	期末試験・総評・まとめ				
備考					

授業科目	動物行動学Ⅱ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物管理学科 専攻科	1年次（後期）	必修	講義・演習	2
担当教員	谷田 創				
実務経験歴	大学教授として33年従事				
授業目的	家畜、伴侶動物、野生動物、飼育動物、動物園動物の行動とその管理方法の基本について、様々な具体的事例を通して学ぶ。				
達成目標	人間と関わりのある動物の行動の基本について理解し、動物の管理方法の基本を把握する。				
授業時間外に必要な学修	様々な種類の動物の行動について比較してみる。				
テキスト	その都度、資料を配布する（動物行動学に関するビデオなどの視聴あり）。				
参考書					
成績評価(割合)	小テスト(40%)および期末試験(50%)、学習態度(10%)で総合的に評価する。				
授業内容とスケジュール					
1回	ガイダンス				
2回	家畜の行動1				
3回	家畜の行動2				
4回	野生動物の行動1				
5回	野生動物の行動2				
6回	伴侶動物の行動1				
7回	伴侶動物の行動2				
8回	飼育動物の行動1				
9回	飼育動物の行動2				
10回	動物園動物の行動1				
11回	動物園動物の行動2				
12回	各動物の福祉1				
13回	各動物の福祉2				
14回	まとめ				
15回	期末試験・総評・まとめ				
備考					

授業科目	動物行動学Ⅲ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物管理学科 専攻科	2年次（前期）	必修	講義・演習	2
担当教員	谷田 創				
実務経験歴	大学教授として33年従事				
授業目的	動物行動学Ⅰと動物行動学Ⅱで学んだ知識をもとに、動物の行動の研究手法について学ぶ。				
達成目標	動物行動学の研究手法について理解し、実際に研究を立案して遂行する力をつける。				
授業時間外に必要な学修	動物の観察方法について参考書などで調べてみる。				
テキスト	その都度、資料を配布する（動物行動学に関するビデオなどの視聴あり）。				
参考書					
成績評価(割合)	小テスト(40%)および期末試験(50%)、学習態度(10%)で総合的に評価する。				
授業内容とスケジュール					
1回	ガイダンス				
2回	動物行動学の研究の立案1				
3回	動物行動学の研究の立案2				
4回	動物行動学の研究方法の設定1				
5回	動物行動学の研究方法の設定2				
6回	フィールド調査のための準備1				
7回	フィールド調査のための準備2				
8回	フィールド調査の実際1				
9回	フィールド調査の実際2				
10回	フィールドデータの収集方法1				
11回	フィールドデータの収集方法2				
12回	収集データの保存1				
13回	収集データの保存2				
14回	まとめ				
15回	期末試験・総評・まとめ				
備考					

授業科目	動物行動学IV				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物管理学科 専攻科	2年次（後期）	必修	講義・演習	2
担当教員	谷田 創				
実務経験歴	大学教授として33年従事				
授業目的	動物行動学IIIで学んだ知識をもとに、データ分析の方法、まとめ方、発表方法を学ぶ。				
達成目標	実際に行動データの分析して、その結果をまとめて発表できる力を身につける。				
授業時間外に必要な学修	統計方法について参考書などで調べてみる。				
テキスト	その都度、資料を配布する（動物行動学に関するビデオなどの視聴あり）。				
参考書					
成績評価(割合)	小テスト(40%)および期末試験(50%)、学習態度(10%)で総合的に評価する。				
授業内容とスケジュール					
1回	ガイダンス				
2回	動物行動学に必要な統計学1				
3回	動物行動学に必要な統計学2				
4回	統計学を利用したデータ分析1				
5回	統計学を利用したデータ分析2				
6回	分析結果の解釈1				
7回	分析結果の解釈2				
8回	結果の考察1				
9回	結果の考察2				
10回	研究論文の書き方1				
11回	研究論文の書き方2				
12回	パワポ作成方法1				
13回	パワポ作成方法2				
14回	発表				
15回	期末試験・総評・まとめ				
備考					

授業科目	動物コミュニケーション I				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物管理学科 専攻科	1年次（前期）	必修	講義・演習	2
担当教員	谷田 創				
実務経験歴	大学教授として33年従事				
授業目的	人と動物（家畜、伴侶動物、野生動物、飼育動物、動物園動物などを含む）の関係とコミュニケーションのあり方の基本について、様々な具体的事例を通して学ぶ。				
達成目標	人と動物の関係の基礎について理解する。				
授業時間外に必要な学修	自分の身近な動物の行動を観察して、人との関係性について考えてみる。				
テキスト	「保育者と教師のための動物介在教育入門（谷田 創他、岩波出版） またそれ以外に資料を配布する（動物行動学に関するビデオなどの視聴あり）。				
参考書					
成績評価(割合)	小テスト(40%)および期末試験(50%)、学習態度(10%)で総合的に評価する。				
授業内容とスケジュール					
1回	ガイダンス				
2回	人と動物の関係の歴史1				
3回	人と動物の関係の歴史2				
4回	人から見た動物(動物観)1				
5回	人から見た動物(動物観)2				
6回	動物から見た人1				
7回	動物から見た人2				
8回	人と動物との軋轢1				
9回	人と動物との軋轢2				
10回	人と動物とのコミュニケーション1				
11回	人と動物とのコミュニケーション2				
12回	人と動物の共生1				
13回	人と動物の共生2				
14回	まとめ				
15回	期末試験・総評・まとめ				
備考					

授業科目	動物コミュニケーションⅡ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物管理学科 専攻科	1年次（後期）	必修	講義・演習	2
担当教員	谷田 創				
実務経験歴	大学教授として33年従事				
授業目的	家畜、伴侶動物、野生動物、飼育動物、動物園動物と人との関係性（コミュニケーション）について、様々な具体的事例を通して学ぶ。				
達成目標	人と動物の関係性について理解し、人と動物の共生のあり方についての意識を高める。				
授業時間外に必要な学修	様々な種類の動物と自分との関係性について考えてみる。				
テキスト	「保育者と教師のための動物介在教育入門（谷田 創他、岩波出版） またそれ以外に資料を配布する（動物行動学に関するビデオなどの視聴あり）。				
参考書					
成績評価(割合)	小テスト(40%)および期末試験(50%)、学習態度(10%)で総合的に評価する。				
授業内容とスケジュール					
1回	ガイダンス				
2回	家畜と人との関係1				
3回	家畜と人との関係2				
4回	野生動物と人との関係1				
5回	野生動物と人との関係2				
6回	伴侶動物と人との関係1				
7回	伴侶動物と人との関係2				
8回	飼育動物と人との関係1				
9回	飼育動物と人との関係2				
10回	動物園動物と人との関係1				
11回	動物園動物と人との関係2				
12回	各動物とのコミュニケーション1				
13回	各動物とのコミュニケーション2				
14回	まとめ				
15回	期末試験・総評・まとめ				
備考					

授業科目	動物コミュニケーションⅢ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物管理学科 専攻科	2年次（前期）	必修	講義・演習	2
担当教員	谷田 創				
実務経験歴	大学教授として33年従事				
授業目的	動物コミュニケーションⅠと動物コミュニケーションⅡで学んだ知識をもとに、人と動物との関係とコミュニケーションの研究手法について学ぶ。				
達成目標	人と動物との関係（コミュニケーション）の研究手法について理解し、実際に研究を立案して遂行する力をつける。				
授業時間外に必要な学修	人と動物との関係について、身の回りで問題となっていることを調べてみる。				
テキスト	「保育者と教師のための動物介在教育入門（谷田 創他、岩波出版） またそれ以外に資料を配布する（動物行動学に関するビデオなどの視聴あり）。				
参考書					
成績評価(割合)	小テスト(40%)および期末試験(50%)、学習態度(10%)で総合的に評価する。				
授業内容とスケジュール					
1回	ガイダンス				
2回	人と動物との関係の研究の立案1				
3回	人と動物との関係の研究の立案2				
4回	人と動物との関係の研究方法の設定1				
5回	人と動物との関係の研究方法の設定2				
6回	フィールド調査のための準備1				
7回	フィールド調査のための準備2				
8回	フィールド調査の実際1				
9回	フィールド調査の実際2				
10回	フィールドデータの収集方法1				
11回	フィールドデータの収集方法2				
12回	収集データの保存1				
13回	収集データの保存2				
14回	まとめ				
15回	期末試験・総評・まとめ				
備考					



授業科目	動物コミュニケーションⅣ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物管理学科 専攻科	2年次（後期）	必修	講義・演習	2
担当教員	谷田 創				
実務経験歴	大学教授として33年従事				
授業目的	動物コミュニケーションⅢで学んだ知識をもとに、データ分析の方法、まとめ方、発表方法を学ぶ。				
達成目標	実際に行動データの分析して、その結果をまとめて発表できる力を身につける。				
授業時間外に必要な学修	統計方法の中でもノンパラメトリック法について参考書などで調べ、パラメトリック法との違いを比較してみる。				
テキスト	「保育者と教師のための動物介在教育入門（谷田 創他、岩波出版） またそれ以外に資料を配布する（動物行動学に関するビデオなどの視聴あり）。				
参考書					
成績評価(割合)	小テスト(40%)および期末試験(50%)、学習態度(10%)で総合的に評価する。				
授業内容とスケジュール					
1回	ガイダンス				
2回	人と動物との関係の研究に必要な統計学1				
3回	人と動物との関係の研究に必要な統計学2				
4回	ノンパラメトリック統計学を利用したデータ分析1				
5回	ノンパラメトリック統計学を利用したデータ分析2				
6回	分析結果の解釈1				
7回	分析結果の解釈2				
8回	結果の考察1				
9回	結果の考察2				
10回	研究論文の書き方				
11回	パワポ作成方法				
12回	発表方法1				
13回	発表方法2				
14回	発表				
15回	期末試験・総評・まとめ				
備考					

授業科目	動物学 I				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物管理学科 専攻科	1年次（後期）	必修	講義	2
担当教員	真田 千奈美				
実務経験歴	JMAA日本メディカルアロマセラピー協会認定スペシャリストとして講師歴11年				
授業目的	メディカルアロマセラピーを学問として捉え、学んだ知識や技術を将来仕事や日常生活に活かせるように実習していくことが目的				
達成目標	JMAA日本メディカルアロマセラピー協会認定アドバイザー資格取得				
授業時間外に必要な学修	身近な人にハンドマッサージの練習をする				
テキスト	初級基礎・応用講座テキスト（日本メディカルアロマセラピー協会・日本メディカルアロマセラピー協会動物臨床獣医部会）				
参考書					
成績評価(割合)	後期定期試験（100%）				
授業内容とスケジュール					
1回	広島県立障害者リハビリテーションセンターあけぼの ペットのふれあいとハンドマッサージ				
2回	広島県立障害者リハビリテーションセンターあけぼの ペットのふれあいとハンドマッサージ				
3回	初級応用Lesson5 精油について（コリアンダー・サンダルウッド）				
4回	初級応用Lesson5 精油について（ジャスミン・ジンジャー）／ハンドマッサージ実技				
5回	初級応用Lesson6 精油について（シダー・セージ・ローズマリーシネオール・ローズマリーカンファー）				
6回	初級応用Lesson7 精油について（タイムツヤノール・タナセタム・フランキンセンス・オレガノ）				
7回	初級応用Lesson8 精油について（ベルガモット・タイムチモール）／ハンドマッサージ実技				
8回	初級応用Lesson8 精油について（アカマツヨーロッパ・タイムサツレオイデス）				
9回	初級応用Lesson9 精油について（ユーカリグロブルス・ラベンダースーパー）				
10回	初級応用Lesson9 精油について（ラベンダースピカ・スターアニス）				
11回	初級応用Lesson10 精油について（ラベンダーストエカス・リトセア）／ハンドマッサージ実技				
12回	初級応用Lesson10 精油について（ワイルドキャロット・ユーカリディベス）				
13回	総まとめ				
14回	復習と試験対策				
15回	後期定期試験（アドバイザー試験）・総評・まとめ				
備考					

授業科目	動物学Ⅱ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物管理学科 専攻科	2年次（前期）	必修	講義	2
担当教員	真田 千奈美				
実務経験歴	JMAA日本メディカルアロマセラピー協会認定スペシャリストとして講師歴11年				
授業目的	人やペットの体や心への健康管理として、病院に行く前の手当てが家庭で出来るように臨床しながら実践・実技が出来るようになることが目的				
達成目標	カウンセリング・マッサージの施術の向上				
授業時間外に必要な学修	自分やペットに作成したジェルやクリームを不調の時使って体験・体感する				
テキスト	JMAA日本メディカルアロマセラピー協会監修テキスト				
参考書					
成績評価(割合)	前期定期試験（100%）				
授業内容とスケジュール					
1回	①臨床実習（メディカルアロマお薬箱作成）				
2回	②臨床実習（メディカルアロマお薬箱作成）				
3回	③臨床実習（メディカルアロマお薬箱作成）				
4回	④臨床実習（メディカルアロマお薬箱作成）				
5回	⑤臨床実習（メディカルアロマお薬箱作成）				
6回	⑥臨床実習（メディカルアロマお薬箱作成）				
7回	①精油のテキスト作成				
8回	②精油のテキスト作成				
9回	③精油のテキスト作成				
10回	④精油のテキスト作成				
11回	⑤精油のテキスト作成				
12回	⑥精油のテキスト作成				
13回	前期臨床実習のまとめ				
14回	臨床実習発表				
15回	前期定期試験・総評・まとめ				
備考					

授業科目	ペットパートナーズプログラム I				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	専攻科 2年課程	1年次 (前期)	必修	講義・実技	2単位
担当教員	橋本昭、尾崎夏美、竹下恵里佳				
実務経験歴	<p>【橋本】 【尾崎】 高齢者施設や幼稚園にて、アニマルセラピー活動を10年以上実施</p> <p>【竹下】 平成18年4月～平成30年4月 浪花警察犬訓練所に勤務 平成30年5月～ひのか警察犬訓練所にて独立</p>				
授業目的	人と動物の関係学を中心に学び、動物が人にもたらす様々な影響を実践的に学ぶ。				
達成目標	人と動物の関係を理解し、動物介在活動がもたらす様々な効果を把握する。				
授業時間外に必要な学修					
テキスト					
参考書	アニマルセラピスト初級/NPO法人日本アニマルセラピー協会 よくわかる！アニマルセラピー/著：メリー・R・バーチ/インターズー				
成績評価(割合)					
授業内容とスケジュール					
1～2	人と動物の関係～歴史①～				
3～4	人と動物の関係～歴史②～				
5～6	人と動物の関係～近年①～				
7～8	人と動物の関係～近年②～				
9～10	人と動物の関係～まとめ～				
11～12	アニマルセラピーとは～基礎①～				
13～14	アニマルセラピーとは～基礎②～				
15～16	アニマルセラピーとは～基礎③～				
17～18	アニマルセラピーとは～基礎まとめ～				
19～20	動物介在活動 (AAA) とは				
21～22	AAAにおける効果～精神的効果～				
23～25	AAAにおける効果～身体的効果～				
26～28	AAAにおける効果～社会的効果～				
29	期末試験対策				
30	期末試験・総評・まとめ				
備考					

授業科目	ペットパートナーズプログラムⅡ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物管理学科 専攻科	1年次（前期）	必修	講義・実技	2単位
担当教員	橋本昭、尾崎夏美、西森将浩				
実務経験歴	【橋本】【尾崎】高齢者施設や幼稚園にて、アニマルセラピー活動を10年以上実施 【西森】社会福祉施設にて相談員経験7年、福祉系専門学校にて教員歴12年				
授業目的	介護職員初任者研修（広島県認可）を学び、高齢者への理解を深めるとともに、高齢者施設における人と動物の関係・役割などを学ぶ。				
達成目標	介護職員初任者研修（広島県認可）を修了し、高齢者との接し方を理解する。				
授業時間外に必要な学修					
テキスト	介護職員初任者研修テキスト（中央法規出版）				
参考書					
成績評価(割合)					
授業内容とスケジュール					
1～2	福祉とは				
3～4	介護職員初任者研修①				
5～6	介護職員初任者研修②				
7～8	介護職員初任者研修③				
9～10	介護職員初任者研修④				
11～12	介護職員初任者研修⑤				
13～14	介護職員初任者研修⑥				
15～16	介護職員初任者研修⑦				
17～18	介護職員初任者研修⑧				
19～20	介護職員初任者研修⑨				
21～22	介護職員初任者研修⑩				
23～25	介護職員初任者研修⑪				
26～28	介護職員初任者研修⑫				
29	介護職員初任者研修⑬				
30	修了試験				
備考					

授業科目	ペットパートナーズプログラムⅢ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物管理学科 専攻科	2年次（前期）	必修	講義・実技	2単位
担当教員	橋本昭、尾崎夏美、竹下恵里佳、西森将浩				
実務経験歴	<p>【橋本】 【尾崎】 高齢者施設や幼稚園にて、アニマルセラピー活動を10年以上実施</p> <p>【竹下】 平成18年4月～平成30年4月 浪花警察犬訓練所に勤務 平成30年5月～ひのか警察犬訓練所にて独立</p> <p>【西森】 社会福祉施設にて相談員経験7年、福祉系専門学校にて教員歴12年</p>				
授業目的	人と動物の関係学を中心に学び、動物が人にもたらす様々な影響を実践的に学ぶ。				
達成目標	人と動物の関係を理解し、動物介在活動がもたらす様々な効果を把握する。				
授業時間外に必要な学修					
テキスト					
参考書	アニマルセラピスト初級/NPO法人日本アニマルセラピー協会 よくわかる！アニマルセラピー/著：メリー・R・バーチ/インターズー				
成績評価(割合)					
授業内容とスケジュール					
1～2	動物介在活動				
3～4	動物介在活動				
5～6	動物介在活動				
7～8	動物介在活動				
9～10	動物介在活動				
11～12	動物介在活動				
13～14	動物介在活動				
15～16	動物介在活動				
17～18	動物介在活動				
19～20	動物介在活動				
21～22	動物介在活動				
23～25	動物介在活動				
26～28	動物介在活動				
29	動物介在活動				
30	期末試験・総評・まとめ				
備考					

授業科目	ペットパートナーズプログラムⅣ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物管理学科 専攻科	2年次（後期）	必修	講義・実技	2単位
担当教員	橋本昭、尾崎夏美、竹下恵里佳、西森将浩				
実務経験歴	<p>【橋本】 【尾崎】 高齢者施設や幼稚園にて、アニマルセラピー活動を10年以上実施</p> <p>【竹下】 平成18年4月～平成30年4月 浪花警察犬訓練所に勤務 平成30年5月～ひのか警察犬訓練所にて独立</p> <p>【西森】 社会福祉施設にて相談員経験7年、福祉系専門学校にて教員歴12年</p>				
授業目的	人と動物の関係学を中心に学び、動物が人にもたらす様々な影響を実践的に学ぶ。				
達成目標	人と動物の関係を理解し、動物介在活動がもたらす様々な効果を把握する。				
授業時間外に必要な学修					
テキスト					
参考書	<p>アニマルセラピスト初級/NPO法人日本アニマルセラピー協会 よくわかる！アニマルセラピー/著：メリー・R・バーチ/インターズー</p>				
成績評価(割合)					
授業内容とスケジュール					
1～2	動物介在活動				
3～4	動物介在活動				
5～6	動物介在活動				
7～8	動物介在活動				
9～10	動物介在活動				
11～12	動物介在活動				
13～14	動物介在活動				
15～16	動物介在活動				
17～18	動物介在活動				
19～20	動物介在活動				
21～22	動物介在活動				
23～25	動物介在活動				
26～28	動物介在活動				
29	動物介在活動				
30	期末試験・総評・まとめ				
備考					

授業科目	コミュニケーション実習 I				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物管理学科 専攻科	1年次（前期）	必修	講義	1
担当教員	真田 千奈美				
実務経験歴	JMAA日本メディカルアロマセラピー協会認定スペシャリストとして講師歴11年				
授業目的	メディカルアロマセラピーを学問として捉え、人間やペットの健康管理を目的に、精油の成分・薬理学・心理学・病理学などを学びQOLとして使えるようになることが目的				
達成目標	JMAA日本メディカルアロマセラピー協会認定アドバイザー資格取得				
授業時間外に必要な学修	多くの人とコミュニケーションを取り傾聴の練習をする				
テキスト	初級基礎・応用講座テキスト（日本メディカルアロマセラピー協会・日本メディカルアロマセラピー協会動物臨床獣医師会）				
参考書					
成績評価（割合）	前期定期試験（100%）				
授業内容とスケジュール					
1回	マインドマップの活用法（描き方）				
2回	初級基礎Lesson1 ①メディカルアロマとは				
3回	初級基礎Lesson1 ②精油の選び方・嗅覚への刺激／クリーム作成				
4回	初級基礎Lesson2 芳香成分の共通作用				
5回	初級基礎Lesson3 他の植物療法との違い/感染症とは				
6回	初級基礎Lesson4 ①化粧品の皮膚への働き／脂肪酸について				
7回	初級応用Lesson1 ①心の病気				
8回	初級応用Lesson1 ②心の病気				
9回	初級応用Lesson2 ステロイドの副作用・カウンセリング				
10回	初級応用Lesson3 ①精油の化学・植物の代謝・有機化学				
11回	初級応用Lesson3 ②脂肪族・芳香族・テルペン系のグループ／化粧水作成				
12回	初級応用Lesson4 ①含酸素化合物・官能基による分析				
13回	初級応用Lesson4 ②精大脳辺縁系・大脳新皮質の働き 自律神経について				
14回	まとめと復習				
15回	前期定期試験・総評・まとめ				
備考					



授業科目	コミュニケーション実習Ⅱ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物管理学科 専攻科	1年次（後期）	必修	講義	1
担当教員	真田 千奈美				
実務経験歴	JMAA日本メディカルアロマセラピー協会認定スペシャリストとして講師歴11年				
授業目的	メディカルアロマセラピーを学問として捉え、人間やペットの健康管理を目的に、精油の成分・薬理学・心理学・病理学などを学びQOLとして使えるようになることが目的				
達成目標	JMAA日本メディカルアロマセラピー協会認定アドバイザー資格取得				
授業時間外に必要な学修	多くの人とコミュニケーションを取り傾聴の練習をする				
テキスト	初級基礎・応用講座テキスト（日本メディカルアロマセラピー協会・日本メディカルアロマセラピー協会動物臨床獣医部会）				
参考書					
成績評価(割合)	後期定期試験（100%）				
授業内容とスケジュール					
1回	広島県立障害者リハビリテーションセンターあけぼの ペットのふれあいとハンドマッサージ				
2回	広島県立障害者リハビリテーションセンターあけぼの ペットのふれあいとハンドマッサージ				
3回	初級応用Lesson5 ①精油の作用				
4回	初級応用Lesson5 ②メディカルアロマ式香道／乳液作成				
5回	初級応用Lesson6 ①皮膚について				
6回	初級応用Lesson7 沐浴とアロマセラピー				
7回	初級応用Lesson8 ①アロマトリートメントについて				
8回	初級応用Lesson8 ②てんかん・糖尿病・肝臓病・腎臓病について				
9回	初級応用Lesson9 ①体質判断				
10回	初級応用Lesson9 ②特別テキスト／ジェル作成				
11回	初級応用Lesson10 ①免疫について				
12回	初級応用Lesson10 ②アレルギー・ホルモンについて				
13回	総まとめ				
14回	復習と試験対策				
15回	後期定期試験（アドバイザー試験）・総評・まとめ				
備考					

授業科目	コミュニケーション実習Ⅲ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物管理学科 専攻科	2年次（前期）	必修	講義	1
担当教員	真田 千奈美				
実務経験歴	JMAA日本メディカルアロマセラピー協会認定スペシャリストとして講師歴11年				
授業目的	日本メディカルアロマセラピー協会認定アドバイザー資格を取得後、人やペットに活用できるようにさらに学びを深め、臨床し実践しながらコミュニケーションスキルを上げることが目的				
達成目標	精油を使って処方・作成・アドバイスができる				
授業時間外に必要な学修	多くの方と関わり話すことでカウンセリングの練習				
テキスト	JMAA日本メディカルアロマセラピー協会監修テキスト				
参考書					
成績評価(割合)	前期定期試験（100%）				
授業内容とスケジュール					
1回	アドバイザー証書渡し／協会会員登録手続き				
2回	肌に優しいメディカルアロマコスメ UV・シミケア				
3回	人とペットの簡単虫よけ／ハンドマッサージ実技				
4回	免疫と感染症				
5回	アレルギーとアトピー性皮膚炎／ハンドマッサージ実技				
6回	ミラクルゲル				
7回	ミラクルイオン水／ハンドマッサージ実技				
8回	人とペットの歯周病と口腔内ケア				
9回	メディカルアロマは家庭の医療／ハンドマッサージ実技				
10回	感染症から家族を守る				
11回	①初めてのメディカルアロマ（講師としての活動練習）				
12回	②初めてのメディカルアロマ（講師としての活動練習）				
13回	③初めてのメディカルアロマ（講師としての活動練習）				
14回	まとめと復習				
15回	前期定期試験・総評・まとめ				
備考					

授業科目	コミュニケーション実習Ⅳ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物管理学科 専攻科	2年次（後期）	必修	講義	1
担当教員	真田 千奈美				
実務経験歴	JMAA日本メディカルアロマセラピー協会認定スペシャリストとして講師歴11年				
授業目的	日本メディカルアロマセラピー協会認定アドバイザー資格を取得後、人やペットに活用できるようにさらに学びを深め、臨床し実践しながらコミュニケーションスキルを上げることが目的				
達成目標	精油を使って処方・作成・アドバイスができる				
授業時間外に必要な学修	多くの方と関わり話すことでカウンセリングの練習				
テキスト	JMAA日本メディカルアロマセラピー協会監修テキスト JMAA日本ペットマッサージ協会テキスト				
参考書					
成績評価(割合)	後期定期試験（100%）				
授業内容とスケジュール					
1回	広島県立障害者リハビリテーションセンターあけぼの ペットのふれあいとハンドマッサージ				
2回	広島県立障害者リハビリテーションセンターあけぼの ペットのふれあいとハンドマッサージ				
3回	①メディカルアロマ心理学				
4回	②メディカルアロマ心理学				
5回	③メディカルアロマ心理学				
6回	④メディカルアロマ心理学				
7回	⑤メディカルアロマ心理学				
8回	⑥メディカルアロマ心理学				
9回	メディカルソープビルダー（石けん講座）				
10回	①人・ペットのマッサージ実技				
11回	②人・ペットのマッサージ実技				
12回	③人・ペットのマッサージ実技				
13回	④人・ペットのマッサージ実技				
14回	まとめと復習				
15回	後期定期試験・総評・まとめ				
備考					

授業科目	社会福祉概論 I				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物管理学科 専攻科	1年次前期	必修	講義	4単位
担当教員	西森 将浩				
実務経験歴	社会福祉施設にて相談員経験7年 福祉系専門学校にて教員歴12年				
授業目的	我が国をはじめ、諸外国における社会福祉の歴史の変遷について理解を深める				
達成目標	我が国及び諸外国の社会福祉における歴史の変遷が理解でき、現在の社会福祉制度等について理解する				
授業時間外に必要な学修					
テキスト	見て覚え社会福祉国試ナビ 中央法規出版 いたう総研資格取得支援センター編集				
参考書	担当教員作成プリント、 社会福祉の動向 中央法規出版 社会福祉の動向編集委員会編集 社会福祉小六法				
成績評価(割合)	定期試験 (70%)、レポート及び平常点 (30%)				
授業内容とスケジュール					
1回	社会福祉とは	16回	諸外国の社会福祉の歴史 (イギリス)		
2回	日本の社会福祉、社会保障	17回	諸外国の社会福祉の歴史 (イギリス)		
3回	日本の社会福祉、社会保障	18回	諸外国の社会福祉の歴史 (イギリス)		
4回	諸外国の社会福祉、社会保障	19回	諸外国の社会福祉の歴史 (アメリカ)		
5回	諸外国の社会福祉、社会保障	20回	諸外国の社会福祉の歴史 (アメリカ)		
6回	諸外国の社会福祉、社会保障	21回	諸外国の社会福祉の歴史 (ドイツ)		
7回	日本の社会福祉の歴史	22回	諸外国の社会福祉の歴史 (ドイツ)		
8回	日本の社会福祉の歴史	23回	諸外国の社会福祉の歴史 (スウェーデン)		
9回	日本の社会福祉の歴史	24回	諸外国の社会福祉の歴史 (ノルウェー)		
10回	日本の社会福祉の歴史	25回	諸外国の社会福祉の歴史 (アジア圏)		
11回	日本の社会福祉の歴史	26回	諸外国の社会福祉の歴史 (アジア圏)		
12回	諸外国の社会福祉の歴史	27回	日本と諸外国の比較		
13回	諸外国の社会福祉の歴史	28回	日本と諸外国の比較		
14回	まとめ、定期試験対策	29回	まとめ、定期試験対策		
15回	定期試験、総評、まとめ	30回	定期試験、総評、まとめ		
備考					

授業科目	社会福祉概論Ⅱ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物管理学科 専攻科	1年次後期	必修	講義	4単位
担当教員	西森 将浩				
実務経験歴	社会福祉施設にて相談員経験7年 福祉系専門学校にて教員歴12年				
授業目的	我が国の社会保障制度、社会福祉制度についての理解				
達成目標	社会福祉、社会保障の対象について理解でき、様々な法制度、体制、手続き方法、支援内容等について把握できる				
授業時間外に必要な学修					
テキスト	見て覚え社会福祉国試ナビ 中央法規出版 itou総研資格取得支援センター編集				
参考書	担当教員作成プリント、 社会福祉の動向 中央法規出版 社会福祉の動向編集委員会編集 社会福祉小六法				
成績評価(割合)	定期試験 (70%)、レポート及び平常点 (30%)				
授業内容とスケジュール					
1回	社会福祉、社会保障とは	16回	介護保険制度		
2回	社会福祉、社会保障の対象	17回	介護保険制度		
3回	我が国の社会保障、社会福祉法体制	18回	介護保険制度		
4回	我が国の社会保障、社会福祉法体制	19回	介護保険制度		
5回	公的扶助	20回	介護保険制度		
6回	年金制度	21回	介護保険制度		
7回	社会福祉行財政	22回	介護保険制度		
8回	社会福祉行財政	23回	介護保険制度		
9回	社会福祉 (高齢者)	24回	介護保険制度		
10回	社会福祉 (高齢者)	25回	高齢者医療制度		
11回	社会福祉 (障害者)	26回	高齢者医療制度		
12回	社会福祉 (障害者)	27回	高齢者医療制度		
13回	社会福祉 (高齢者・障害者)	28回	高齢者医療制度		
14回	まとめ、定期試験対策	29回	まとめ、定期試験対策		
15回	定期試験、総評、まとめ	30回	定期試験、総評、まとめ		
備考					

授業科目	社会福祉概論Ⅲ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物管理学科 専攻科	2年次（前期）	必修	講義	4単位
担当教員	中村 卓治				
実務経験歴	ソーシャルワーカーとして12年間従事（教授歴？）				
授業目的	九州保健福祉大学の添削課題に取り組むことにより、社会福祉学の学びを深める				
達成目標	添削課題をクリアーし、科目認定試験の受験資格を得る				
授業時間外に必要な学修	新聞やTV、ネットを活用し各種社会情勢を抑えるとともに、その事象に対する自身の価値観に目を向けてみる。				
テキスト	九州保健福祉大学指定のテキスト				
参考書	九州保健福祉大学推薦の参考書籍				
成績評価(割合)	期末試験(50%)及び学習態度(50%)で総合的に評価する。				
授業内容とスケジュール					
1回	九州保健福祉大学の添削課題への取り組み				
2回	九州保健福祉大学の添削課題への取り組み				
3回	九州保健福祉大学の添削課題への取り組み				
4回	九州保健福祉大学の添削課題への取り組み				
5回	九州保健福祉大学の添削課題への取り組み				
6回	九州保健福祉大学の添削課題への取り組み				
7回	九州保健福祉大学の添削課題への取り組み				
8回	九州保健福祉大学の添削課題への取り組み				
9回	九州保健福祉大学の添削課題への取り組み				
10回	九州保健福祉大学の添削課題への取り組み				
11回	九州保健福祉大学の添削課題への取り組み				
12回	九州保健福祉大学の添削課題への取り組み				
13回	九州保健福祉大学の添削課題への取り組み				
14回	九州保健福祉大学の添削課題への取り組み				
15回	期末試験・総評・まとめ				
備考					

授業科目	社会福祉概論Ⅳ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物管理学科 専攻科	2年次（後期）	必修	講義	4単位
担当教員	中村 卓治				
実務経験歴	ソーシャルワーカーとして12年間従事（教授歴？）				
授業目的	九州保健福祉大学の添削課題に取り組むことにより、社会福祉学の学びを深める				
達成目標	添削課題をクリアーし、科目認定試験の受験資格を得る				
授業時間外に必要な学修	新聞やTV、ネットを活用し各種社会情勢を抑えるとともに、その事象に対する自身の価値観に目を向けてみる。				
テキスト	九州保健福祉大学指定のテキスト				
参考書	九州保健福祉大学推薦の参考書籍				
成績評価(割合)	期末試験(50%)及び学習態度(50%)で総合的に評価する。				
授業内容とスケジュール					
1回	九州保健福祉大学の添削課題への取り組み				
2回	九州保健福祉大学の添削課題への取り組み				
3回	九州保健福祉大学の添削課題への取り組み				
4回	九州保健福祉大学の添削課題への取り組み				
5回	九州保健福祉大学の添削課題への取り組み				
6回	九州保健福祉大学の添削課題への取り組み				
7回	九州保健福祉大学の添削課題への取り組み				
8回	九州保健福祉大学の添削課題への取り組み				
9回	九州保健福祉大学の添削課題への取り組み				
10回	九州保健福祉大学の添削課題への取り組み				
11回	九州保健福祉大学の添削課題への取り組み				
12回	九州保健福祉大学の添削課題への取り組み				
13回	九州保健福祉大学の添削課題への取り組み				
14回	九州保健福祉大学の添削課題への取り組み				
15回	期末試験・総評・まとめ				
備考					

授業科目	臨床福祉学 I				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物管理学科 専攻科	1年次前期	必修	講義	4単位
担当教員	西森 将浩				
実務経験歴	社会福祉施設にて相談員経験7年 福祉系専門学校にて教員歴12年				
授業目的	我が国の社会保障制度、社会福祉制度についての理解				
達成目標	社会福祉、社会保障の対象について理解でき、様々な法制度、体制、手続き方法、支援内容等について把握できる				
授業時間外に必要な学修					
テキスト	見て覚え社会福祉国試ナビ 中央法規出版 itou総研資格取得支援センター編集				
参考書	担当教員作成プリント、 社会福祉の動向 中央法規出版 社会福祉の動向編集委員会編集 社会福祉小六法				
成績評価(割合)	定期試験 (70%)、レポート及び平常点 (30%)				
授業内容とスケジュール					
1回	社会福祉、社会保障とは	16回	社会福祉 (高齢者)		
2回	社会福祉、社会保障の対象	17回	社会福祉 (高齢者)		
3回	我が国の社会保障、社会福祉法体制	18回	社会福祉 (高齢者)		
4回	我が国の社会保障、社会福祉法体制	19回	社会福祉 (障害者)		
5回	公的扶助	20回	社会福祉 (障害者)		
6回	公的扶助	21回	社会福祉 (障害者)		
7回	公的扶助	22回	社会福祉 (児童)		
8回	社会保険制度	23回	社会福祉 (児童)		
9回	年金制度	24回	社会福祉 (母子・家庭)		
10回	年金制度	25回	社会福祉 (母子・家庭)		
11回	健康保険	26回	社会福祉 (全般)		
12回	雇用保険	27回	社会福祉行財政		
13回	公的保険	28回	社会福祉行財政		
14回	まとめ、定期試験対策	29回	まとめ、定期試験対策		
15回	定期試験、総評、まとめ	30回	定期試験、総評、まとめ		
備考					



授業科目	臨床福祉学Ⅱ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物管理学科 専攻科	1年次後期	必修	講義	4単位
担当教員	西森 将浩				
実務経験歴	社会福祉施設にて相談員経験7年 福祉系専門学校にて教員歴12年				
授業目的	我が国の社会保障制度、社会福祉制度についての理解				
達成目標	社会福祉、社会保障の対象について理解でき、様々な法制度、体制、手続き方法、支援内容等について把握できる				
授業時間外に必要な学修					
テキスト	見て覚え社会福祉国試ナビ 中央法規出版 itou総研資格取得支援センター編集				
参考書	担当教員作成プリント、 社会福祉の動向 中央法規出版 社会福祉の動向編集委員会編集 社会福祉小六法				
成績評価(割合)	定期試験 (70%)、レポート及び平常点 (30%)				
授業内容とスケジュール					
1回	社会福祉 (母子・家庭)	16回	虐待 (高齢者)		
2回	社会福祉 (母子・家庭)	17回	虐待 (高齢者)		
3回	社会福祉 (母子・家庭)	18回	D V		
4回	社会福祉 (母子・家庭)	19回	虐待・D Vまとめ		
5回	虐待 (児童)	20回	権利擁護		
6回	虐待 (児童)	21回	権利擁護		
7回	虐待 (児童)	22回	日常生活自立支援事業		
8回	虐待 (児童)	23回	日常生活自立支援事業		
9回	虐待 (障害)	24回	成年後見制度		
10回	虐待 (障害)	25回	成年後見制度		
11回	虐待 (障害)	26回	成年後見制度		
12回	虐待 (高齢者)	27回	成年後見制度		
13回	虐待 (高齢者)	28回	成年後見制度		
14回	まとめ、定期試験対策	29回	まとめ、定期試験対策		
15回	定期試験、総評、まとめ	30回	定期試験、総評、まとめ		
備考					

授業科目	臨床福祉学Ⅲ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物管理学科 専攻科	2年次前期	必修	講義	4単位
担当教員	西森 将浩				
実務経験歴	社会福祉施設にて相談員経験7年 福祉系専門学校にて教員歴12年				
授業目的	我が国の社会保障制度、社会福祉制度についての理解				
達成目標	社会福祉、社会保障の対象について理解でき、様々な法制度、体制、手続き方法、支援内容等について把握できる				
授業時間外に必要な学修					
テキスト	見て覚え社会福祉国試ナビ 中央法規出版 いたう総研資格取得支援センター編集				
参考書	担当教員作成プリント、 社会福祉の動向 中央法規出版 社会福祉の動向編集委員会編集 社会福祉小六法				
成績評価(割合)	定期試験 (70%)、レポート及び平常点 (30%)				
授業内容とスケジュール					
1回	社会保障制度		16回	各種福祉相談所理解	
2回	社会福祉制度		17回	各種福祉相談所理解	
3回	障害者理解、分類		18回	各種福祉相談所理解	
4回	障害者理解、分類		19回	各種福祉相談所理解	
5回	障害者就労支援		20回	各種福祉相談所理解	
6回	障害者就労支援		21回	各種福祉相談所理解	
7回	障害者就労支援		22回	マズロー、心理理解	
8回	障害者就労支援		23回	防衛機制	
9回	障害者就労支援		24回	防衛機制	
10回	障害者就労支援		25回	防衛機制	
11回	障害者教育		26回	心理療法、カウンセリング技法	
12回	障害者教育		27回	心理療法、カウンセリング技法	
13回	障害者教育		28回	心理療法、カウンセリング技法	
14回	まとめ、定期試験対策		29回	まとめ、定期試験対策	
15回	定期試験、総評、まとめ		30回	定期試験、総評、まとめ	
備考					

授業科目	臨床福祉学Ⅳ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物管理学科 専攻科	2年次後期	必修	講義	4単位
担当教員	西森 将浩				
実務経験歴	社会福祉施設にて相談員経験7年 福祉系専門学校にて教員歴12年				
授業目的	我が国の社会保障制度、社会福祉制度についての理解				
達成目標	社会福祉、社会保障の対象について理解でき、様々な法制度、体制、手続き方法、支援内容等について把握できる				
授業時間外に必要な学修					
テキスト	見て覚え社会福祉国試ナビ 中央法規出版 itou総研資格取得支援センター編集				
参考書	担当教員作成プリント、 社会福祉の動向 中央法規出版 社会福祉の動向編集委員会編集 社会福祉小六法				
成績評価(割合)	定期試験 (70%)、レポート及び平常点 (30%)				
授業内容とスケジュール					
1回	社会保障制度		16回	疾病、障害の理解	
2回	利用者理解		17回	疾病、障害の理解	
3回	利用者理解		18回	疾病、障害の理解	
4回	人体構造		19回	疾病、障害への対処法	
5回	人体構造		20回	疾病、障害への対処法	
6回	人体構造 (骨格)		21回	相談援助の実際・具体的方法	
7回	人体構造 (骨格)		22回	相談援助の実際・具体的方法	
8回	人体構造 (筋肉)		23回	相談援助の実際・具体的方法	
9回	人体構造 (筋肉)		24回	相談援助の実際・具体的方法	
10回	人体構造 (筋肉)		25回	相談援助の実際・具体的方法	
11回	人体構造 (内臓)		26回	相談援助の実際・具体的方法	
12回	人体構造 (内臓)		27回	相談援助の実際・具体的方法	
13回	人体構造 (内臓)		28回	相談援助の実際・具体的方法	
14回	まとめ、定期試験対策		29回	まとめ、定期試験対策	
15回	定期試験、総評、まとめ		30回	定期試験、総評、まとめ	
備考					

授業科目	社会福祉実習 I				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物管理学科 専攻科	1年次（前期）	必修	講義	2
担当教員	真田 千奈美				
実務経験歴	JMAA日本メディカルアロマセラピー協会認定スペシャリストとして講師歴11年				
授業目的	メディカルアロマセラピーを学問として捉え、学んだ知識や技術を将来仕事や日常生活に活かせるように実習していくことが目的				
達成目標	JMAA日本メディカルアロマセラピー協会認定アドバイザー資格取得				
授業時間外に必要な学修	身近な人にハンドマッサージの練習をする				
テキスト	初級基礎・応用講座テキスト（日本メディカルアロマセラピー協会・日本メディカルアロマセラピー協会動物臨床獣医部会）				
参考書					
成績評価（割合）	前期定期試験（100%）				
授業内容とスケジュール					
1回	マインドマップの活用（自己紹介）				
2回	初級基礎Lesson1 精油について（イランイラン・ラベンダーアングスティフォリア）				
3回	初級基礎Lesson1 精油について（マンダリン・レモン）／ローション作成				
4回	初級基礎Lesson2 精油について（ペパーミント・サイプレス・ローズウッド・ゼラニウムエジプト）				
5回	初級基礎Lesson3 精油について（パルマローザ・ジュニパー）／ハンドマッサージ実技				
6回	初級基礎Lesson4 精油について（ラベンサラ・レモングラス・ユーカリレモン・ティーツリー）				
7回	初級応用Lesson1 精油について（ウィンターグリーン・カモマイルジャーマン）				
8回	初級応用Lesson1 精油について（カモマイルローマン・シナモンカシヤ）				
9回	初級応用Lesson2 精油について（クラーリセージ・ニアウリCT1・ネロリ・プチグレン）				
10回	初級応用Lesson3 精油について（バジル・パチュリー）／ハンドマッサージ実技				
11回	初級応用Lesson3 精油について（ヘリクリサム・ユーカリラディア）				
12回	初級応用Lesson4 精油について（オレンジビター・オレンジスイート）				
13回	初級応用Lesson4 精油について（グレープフルーツ・クローブ）／ハンドマッサージ実技				
14回	まとめと復習				
15回	前期定期試験・総評・まとめ				
備考					

授業科目	社会福祉実習Ⅱ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物管理学科 専攻科	2年次（後期）	必須	講義	2
担当教員	真田 千奈美				
実務経験歴	JMAA日本メディカルアロマセラピー協会認定スペシャリストとして講師歴11年				
授業目的	人やペットの体や心への健康管理として、病院に行く前の手当てが家庭で出来るように臨床しながら実践・実技が出来るようになることが目的				
達成目標	カウンセリング・マッサージの施術の向上				
授業時間外に必要な学修	自分やペットに作成したジェルやクリームを不調の時使って体験・体感する				
テキスト	JMAA日本メディカルアロマセラピー協会監修テキスト JMAA日本ペットマッサージ協会テキスト				
参考書					
成績評価(割合)	後期定期試験（100%）				
授業内容とスケジュール					
1回	広島県立障害者リハビリテーションセンターあけぼの ペットのふれあいとハンドマッサージ				
2回	広島県立障害者リハビリテーションセンターあけぼの ペットのふれあいとハンドマッサージ				
3回	①メディカルアロマ心理学				
4回	②メディカルアロマ心理学				
5回	③メディカルアロマ心理学				
6回	④メディカルアロマ心理学				
7回	⑤メディカルアロマ心理学				
8回	⑥メディカルアロマ心理学				
9回	メディカルソープビルダー（石けん作り）				
10回	①人・ペットのマッサージ実技				
11回	②人・ペットのマッサージ実技				
12回	③人・ペットのマッサージ実技				
13回	④人・ペットのマッサージ実技				
14回	まとめと復習				
15回	後期定期試験・総評・まとめ				
備考					

授業科目	社会福祉援助技術 I				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物管理学科 専攻科	1年次（前期）	必修	演習	1単位
担当教員	中村 卓治				
実務経験歴	ソーシャルワーカーとして12年間従事				
授業目的	利用者の生活課題を解決するために用いられるソーシャルワーク（社会福祉援助術）について、様々な演習を通して理解を深める。				
達成目標	ソーシャルワーク（社会福祉援助技術）を活用するソーシャルワーカーの専門性を理解するとともに、演習を通して自分自身の気づきにつなげる。				
授業時間外に必要な学修	新聞やTV、ネットを活用し各種社会情勢を抑えるとともに、その事象に対する自身の価値観に目を向けてみる。				
テキスト	なし				
参考書	授業の中で適宜紹介する				
成績評価(割合)	レポート（20%）および期末試験(50%)、学習態度(30%)で総合的に評価する。				
授業内容とスケジュール					
1回	オリエンテーション・ミニ演習				
2回	演習テーマ：自己覚知①				
3回	演習テーマ：自己覚知②				
4回	演習テーマ：自己覚知③				
5回	演習テーマ：自己覚知④				
6回	演習テーマ：自己覚知⑤				
7回	演習テーマ：自己覚知⑥				
8回	演習テーマ：自己覚知⑦				
9回	演習テーマ：自己覚知⑧				
10回	演習テーマ：自己覚知⑨				
11回	演習テーマ：自己覚知⑩				
12回	演習テーマ：利用者との意図的な関係づくり①				
13回	演習テーマ：利用者との意図的な関係づくり②				
14回	演習テーマ：利用者との意図的な関係づくり③				
15回	期末試験・総評・まとめ				
備考					

授業科目	社会福祉援助技術Ⅱ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物管理学科 専攻科	1年次（後期）	必修	演習	1単位
担当教員	中村 卓治				
実務経験歴	ソーシャルワーカーとして12年間従事（教授歴？）				
授業目的	利用者の生活課題を解決するために用いられるソーシャルワーク（社会福祉援助術）について、様々な演習を通して理解を深める。				
達成目標	ソーシャルワーク（社会福祉援助技術）を活用するソーシャルワーカーの専門性を理解するとともに、演習を通して自分自身の気づきにつなげる。				
授業時間外に必要な学修	新聞やTV、ネットを活用し各種社会情勢を抑えるとともに、その事象に対する自身の価値観に目を向けてみる。				
テキスト	なし				
参考書	授業の中で適宜紹介する				
成績評価(割合)	レポート（20%）および期末試験(50%)、学習態度(30%)で総合的に評価する。				
授業内容とスケジュール					
1回	演習テーマ：利用者との意図的な関係づくり④				
2回	演習テーマ：利用者との意図的な関係づくり⑤				
3回	演習テーマ：利用者との意図的な関係づくり⑥				
4回	演習テーマ：利用者との意図的な関係づくり⑦				
5回	演習テーマ：利用者との意図的な関係づくり⑧				
6回	演習テーマ：利用者との意図的な関係づくり⑨				
7回	演習テーマ：利用者との意図的な関係づくり⑩				
8回	演習テーマ：支援に必要な情報の収集（アセスメント）①				
9回	演習テーマ：支援に必要な情報の収集（アセスメント）②				
10回	演習テーマ：支援に必要な情報の収集（アセスメント）③				
11回	演習テーマ：支援に必要な情報の収集（アセスメント）④				
12回	演習テーマ：支援に必要な情報の収集（アセスメント）⑤				
13回	演習テーマ：支援に必要な情報の収集（アセスメント）⑥				
14回	演習テーマ：支援に必要な情報の収集（アセスメント）⑦				
15回	期末試験・総評・まとめ				
備考					

授業科目	社会福祉援助技術Ⅲ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物管理学科 専攻科	2年次（前期）	必修	演習	1単位
担当教員	中村 卓治				
実務経験歴	ソーシャルワーカーとして12年間従事				
授業目的	利用者の生活課題を解決するために用いられるソーシャルワーク（社会福祉援助術）について、様々な演習を通して理解を深める。				
達成目標	ソーシャルワーク（社会福祉援助技術）を活用するソーシャルワーカーの専門性を理解するとともに、演習を通して自分自身の気づきにつなげる。				
授業時間外に必要な学修	新聞やTV、ネットを活用し各種社会情勢を抑えるとともに、その事象に対する自身の価値観に目を向けてみる。				
テキスト	なし				
参考書	授業の中で適宜紹介する				
成績評価(割合)	レポート（20%）および期末試験(50%)、学習態度(30%)で総合的に評価する。				
授業内容とスケジュール					
1回	演習テーマ：支援に必要な情報の収集（アセスメント）⑧				
2回	演習テーマ：支援に必要な情報の収集（アセスメント）⑨				
3回	演習テーマ：支援に必要な情報の収集（アセスメント）⑩				
4回	演習テーマ：利用者の支援計画の立案①				
5回	演習テーマ：利用者の支援計画の立案②				
6回	演習テーマ：利用者の支援計画の立案③				
7回	演習テーマ：利用者の支援計画の立案④				
8回	演習テーマ：利用者の支援計画の立案⑤				
9回	演習テーマ：利用者の支援計画の立案⑥				
10回	演習テーマ：利用者の支援計画の立案⑦				
11回	演習テーマ：利用者の支援計画の立案⑧				
12回	演習テーマ：利用者の支援計画の立案⑨				
13回	演習テーマ：利用者の支援計画の立案⑩				
14回	演習テーマ：事例検討①				
15回	期末試験・総評・まとめ				
備考					



授業科目	社会福祉援助技術Ⅳ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物管理学科 専攻科	1年次（後期）	必修	演習	1単位
担当教員	中村 卓治				
実務経験歴	ソーシャルワーカーとして12年間従事				
授業目的	利用者の生活課題を解決するために用いられるソーシャルワーク（社会福祉援助術）について、様々な演習を通して理解を深める。				
達成目標	ソーシャルワーク（社会福祉援助技術）を活用するソーシャルワーカーの専門性を理解するとともに、演習を通して自分自身の気づきにつなげる。				
授業時間外に必要な学修	新聞やTV、ネットを活用し各種社会情勢を抑えるとともに、その事象に対する自身の価値観に目を向けてみる。				
テキスト	なし				
参考書	授業の中で適宜紹介する				
成績評価(割合)	レポート（20%）および期末試験(50%)、学習態度(30%)で総合的に評価する。				
授業内容とスケジュール					
1回	演習テーマ：事例検討②				
2回	演習テーマ：事例検討③				
3回	演習テーマ：事例検討④				
4回	演習テーマ：事例検討⑤				
5回	演習テーマ：卒業試験（実技）対策①				
6回	演習テーマ：卒業試験（実技）対策②				
7回	演習テーマ：卒業試験（実技）対策③				
8回	演習テーマ：卒業試験（実技）対策④				
9回	演習テーマ：卒業試験（実技）対策⑤				
10回	演習テーマ：卒業試験（実技）対策⑥				
11回	演習テーマ：卒業試験（実技）対策⑦				
12回	演習テーマ：卒業試験（実技）対策⑧				
13回	演習テーマ：卒業試験（実技）対策⑨				
14回	演習テーマ：卒業試験（実技）対策⑩				
15回	期末試験・総評・まとめ				
備考					

授業科目	国家試験対策				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物管理学科 専攻科	2年次（通年）	必修	講義	4単位
担当教員	中村 卓治				
実務経験歴	ソーシャルワーカーとして12年間従事				
授業目的	社会福祉士（国家資格）の受験に必要な専門知識の獲得を教授する。				
達成目標	社会福祉士国家試験の合格を目指す。				
授業時間外に必要な学修	社会福祉士国家試験の過去問題集をはじめとして、関連する教材を活用し自習に取り組む。				
テキスト	社会福祉士過去問題集（出版社は問わない）				
参考書	これまでの授業で活用したテキスト及び参考書籍				
成績評価(割合)	期末試験(50%)及び学習態度(50%)で総合的に評価する。				
授業内容とスケジュール					
1回	社会福祉の各種法制度①	16回	共通科目⑤		
2回	社会福祉の各種法制度②	17回	過去問①		
3回	社会福祉の各種法制度③	18回	過去問②		
4回	社会福祉の各種法制度④	19回	過去問③		
5回	社会福祉の各種法制度⑤	20回	過去問④		
6回	ソーシャルワーク①	21回	過去問⑤		
7回	ソーシャルワーク②	22回	過去問⑥		
8回	ソーシャルワーク③	23回	過去問⑦		
9回	ソーシャルワーク④	24回	過去問⑧		
10回	ソーシャルワーク⑤	25回	過去問⑨		
11回	共通科目①	26回	過去問⑩		
12回	共通科目②	27回	試験直前対策①		
13回	共通科目③	28回	試験直前対策②		
14回	共通科目④	29回	試験直前対策③		
15回	期末試験・総評・まとめ	30回	期末試験・総評・まとめ		
備考					

授業科目	グルーミング実習				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物管理学科 専攻科	1・2年次通年	選択必修	講義・実技	16
担当教員	橋本昭、尾崎夏美、竹下恵里佳、西森将浩				
実務経験歴	<p>【橋本】 【尾崎】 高齢者施設や幼稚園にて、アニマルセラピー活動を10年以上実施</p> <p>【竹下】 平成18年4月～平成30年4月 浪花警察犬訓練所に勤務 平成30年5月～ひのか警察犬訓練所にて独立</p> <p>【西森】 社会福祉施設にて相談員経験7年、福祉系専門学校にて教員歴12年</p>				
授業目的	人と動物の関係学を中心に学び、動物が人にもたらす様々な影響を実践的に学ぶ。				
達成目標	人と動物の関係を理解し、動物介在活動がもたらす様々な効果を把握する。				
授業時間外に必要な学修					
テキスト					
参考書	アニマルセラピスト初級/NPO法人日本アニマルセラピー協会 よくわかる！アニマルセラピー/著：メリー・R・バーチ/インターズー				
成績評価(割合)					
授業内容とスケジュール					
1～119	動物介在活動		121～239	動物介在活動	
	動物介在活動			動物介在活動	
	動物介在活動			動物介在活動	
	動物介在活動			動物介在活動	
	動物介在活動			動物介在活動	
	動物介在活動			動物介在活動	
	動物介在活動			動物介在活動	
	動物介在活動			動物介在活動	
	動物介在活動			動物介在活動	
	動物介在活動			動物介在活動	
	動物介在活動			動物介在活動	
120	期末試験・総評・まとめ		240	期末試験・総評・まとめ	
備考					

授業科目	HAR実習				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物管理学科 専攻科	1・2年次通年	選択必修	講義・実技	16
担当教員	橋本昭、尾崎夏美、竹下恵里佳、西森将浩				
実務経験歴	<p>【橋本】 【尾崎】 高齢者施設や幼稚園にて、アニマルセラピー活動を10年以上実施</p> <p>【竹下】 平成18年4月～平成30年4月 浪花警察犬訓練所に勤務 平成30年5月～ひのか警察犬訓練所にて独立</p> <p>【西森】 社会福祉施設にて相談員経験7年、福祉系専門学校にて教員歴12年</p>				
授業目的	人と動物の関係学を中心に学び、動物が人にもたらす様々な影響を実践的に学ぶ。				
達成目標	人と動物の関係を理解し、動物介在活動がもたらす様々な効果を把握する。				
授業時間外に必要な学修					
テキスト					
参考書	<p>アニマルセラピスト初級/NPO法人日本アニマルセラピー協会 よくわかる！アニマルセラピー/著：メリー・R・バーチ/インターズー</p>				
成績評価(割合)					
授業内容とスケジュール					
1～119	動物介在活動		121～239	動物介在活動	
	動物介在活動			動物介在活動	
	動物介在活動			動物介在活動	
	動物介在活動			動物介在活動	
	動物介在活動			動物介在活動	
	動物介在活動			動物介在活動	
	動物介在活動			動物介在活動	
	動物介在活動			動物介在活動	
	動物介在活動			動物介在活動	
	動物介在活動			動物介在活動	
	動物介在活動			動物介在活動	
120	期末試験・総評・まとめ		240	期末試験・総評・まとめ	
備考					